

2019年度英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 16-0007 浅野 晴哉 『ハックルベリー・フィンの冒険』について―「良心」と「心情」を考察する―
- 文 16-0017 天野 将吾 動物寓話と諷刺―『ガリバー旅行記』と『動物農場』の比較―
- 文 16-0024 有馬 明日香 Comparing Responses to Compliments in Japanese and English
- 文 16-0035 石川 貴大 トマス・ムーアの言葉から見えるアイルランド詩の意味
- 文 16-0054 井田 勝也 English Pronunciation for Japanese Learners
- 文 16-0055 一村 奈々実 使役起動交替と移動様態動作主動詞の使役交替について
- 文 16-0067 伊野 結歩 The Difference of Compliments Between English and Japanese
- 文 16-0080 今西 帆乃香 新たな *love* メタファー―恋愛、愛はどのような存在なのか―
- 文 16-0085 岩井 美月 Treatment of LGBT Issues in Japan and America
- 文 16-0090 岩崎 あかね Attitudes toward Early English Education in Japan
- 文 16-0097 上西 奈瑠香 『ヘアスプレー』における人物分析―「見る」から「見られる」へ、影の主人公、母娘関係―
- 文 16-0102 上山 楓久子 『床下の小人たち』に見る弱者の世界観―イギリス変革期の滅びゆく表象―
- 文 16-0105 白間 明日香 『不思議の国のアリス』における言葉遊びとその翻訳
- 文 16-0107 鵜子 水月 短編小説の技法分析―視点分析を中心に―
- 文 16-0109 梅川 沙綾 『Harry Potter and the Chamber of Secrets』における翻訳と分析
- 文 16-0141 大原 未来 『チョコレート工場の秘密』における隠された家族愛
- 文 16-0144 大山 佳祐 中間構文における進行形と副詞について
- 文 16-0145 岡田 将吾 H.D. "R.A.F" について
- 文 16-0154 小片 基臣 ウィリアム・ブレイク―無垢と経験―
- 文 16-0159 越久 琴美 The Role of Pronunciation in English Education: Attitudes of Japanese Students
- 文 16-0173 尾中 智美 *The Last Samurai* における人物の変化―オールグレンの生まれ変わりと周囲への影響―
- 文 16-0176 斧 奈津希 *Extremely Loud and Incredibly Close* における少年の成長―秘密がもたらす効果―
- 文 16-0185 赫本 晴香 「Call Me By Your Name」における翻訳と分析
- 文 16-0186 影安 栞奈 『ライ麦畑で捕まえて』―イノセンスを渴望するホールデンの成長について
- 文 16-0189 片岡 拓也 Filipino Attitudes Towards Taglish and Smart-Shaming
- 文 16-0191 桂 郁宇 TO 不定詞の非頭在的な主語 PRO について
- 文 16-0198 角 千詩帆 Comparing Ways of Giving Negative Assessments in Japanese and English
- 文 16-0229 岸田 雄希 演説におけるメタファー―マーティン・ルーサー・キング・ジュニアはどのようにして演説で人の心を動かしたのか―
- 文 16-0231 岸本 忠 Attitudes Towards Working

- 文 16-0243 北 本 実 那 フェミニズム批評からみるシンデレラ
- 文 16-0261 口 田 麻 衣 構文文法的 *on me* の分析— *on me* 構文の存在について
- 文 16-0265 久 保 将 真 「かたい」の多義—*solid, rigid, hard* の比較—
- 文 16-0275 倉 田 佳 奈 『キャッチャー・イン・ザ・ライ』について—ホールデンがたどり着く成熟を考察する—
- 文 16-0280 桑 内 亜 衣 オスカー・ワイルドの喜劇『真面目が肝心』はなぜ人を惹きつけるのか?—映画化作品やミュージカル化作品と比較して—
- 文 16-0289 小 西 萌 絵 「独立性」と「協調性」がもたらす日米間の差異
- 文 16-0299 小 山 真梨奈 Eleanor Oliphant is Completely Fine における翻訳比較
- 文 16-0304 後 藤 慎 平 英語のジョーク考察—理解とおかしみを妨げる要因—
- 文 16-0325 作 道 愛 オー・ヘンリー短編小説論
- 文 16-0332 佐 田 詩 葉 フェミニズムの観点から見た『白雪姫』
- 文 16-0347 茂 田 絵里奈 『赤毛のアン』—アンが兄妹二人に及ぼす影響と家族愛—
- 文 16-0356 清 水 美沙子 『嵐が丘』における語り手の多重構造
- 文 16-0364 白 井 友 理 *LALALAND* における理想と現実の乖離—音楽、衣装、照明、カメラワークが生み出す演劇性—
- 文 16-0392 十 河 桃 香 オノマトペがもたらす印象—濁音と清音の仕組み—
- 文 16-0403 高 野 実 希 なぜマザーグースは子供だけではなく、大人にも愛される童話なのか
- 文 16-0407 高 橋 莉 子 How Americans and Japanese Feel about “Love” and “Like”, and How They Use These Words
- 文 16-0408 高 増 志 帆 『動物農場』—スターリン主義の諷刺について—
- 文 16-0421 竹 下 真 歩 慰め方の日英比較
- 文 16-0431 田 中 楓 Pronunciation in SLA
- 文 16-0438 田 仲 美 月 ロバート・ブリッジズについて
- 文 16-0453 田 村 颯 登 On Specific Issues in Non-professional Translation: Addition, Deletion, and Alternation
- 文 16-0461 辻 直 哉 An Introduction of ESL Methodologies to English Education in Japan
- 文 16-0469 土 橋 京 平 日米ユーチューブ比較—タイトルやサムネイルに用いられる効果的言語表現—
- 文 16-0528 永 岡 かな子 Communication Styles in Canada and Japan
- 文 16-0545 西 垣 茉 侑 アメリカ人と日本人のビジネス場面での上下関係における依頼表現の比較
- 文 16-0556 西 村 祐 香 『ジェイン・エア』—感情、行動から探るジェインの人物像—
- 文 16-0557 荷 福 怜 映画 *Wonder* における人物分析——ヘルメットを被る少年、世界—ものわりのいい子、格言——
- 文 16-0572 橋 本 沙 耶 ジョーの成長について—『若草物語』—
- 文 16-0576 橋 本 悠 斗 The History of English Education in Japan
- 文 16-0577 橋 本 涼 平 Analysis of *The BFG* and its Japanese Translations

- 文 16-0579 長谷川 楓 類義語 *motion* と *movement* の多義分析—コーパスの例文を用いて比較する—
- 文 16-0589 八 田 千 夏 —Beauty and the Beast の翻訳と分析—
- 文 16-0603 原 有 咲 褒め言葉の日英比較
- 文 16-0612 樋 口 青 宙 Translation and Analysis of Shutter Island: Pursuit of better Translation
- 文 16-0620 平 松 さくら Impressions of Smiles on the Job
- 文 16-0623 廣 畑 光 *The Breakfast Club* の物語構造—学校という非日常空間、通過儀礼、大人の役割—
- 文 16-0624 尾 藤 七 海 *power* と *force* の意味対照—コーパスに基づく多義分析—
- 文 16-0626 福 田 桃 子 自己開示度の日米比較
- 文 16-0631 藤 江 優 貴 Attitudes toward English Education in India
- 文 16-0636 藤 本 翔 *Sabrina* における生まれ変わり—登場人物の変化を映し出すモチーフ—
- 文 16-0671 間 島 健 心 『人間の絆』における主人公の内的成長について
- 文 16-0675 増 田 有 希 『ライ麦畑』のホールデン—ホールデンの成長について考察する—
- 文 16-0681 松 尾 京 香 「女らしさ」の日米比較
- 文 16-0689 松 林 莉 奈 日本語のオノマトペ表現の英訳—英語の動詞に込められる様態の例—
- 文 16-0747 守 谷 里 菜 感情と液体の動詞のメタファー—液体の性質と感情の概念化—
- 文 16-0753 柳 瀬 新 奈 Cultural Comparison of How to Refuse: Between Japanese and English-speaking Countries
- 文 16-0756 山 影 秋 乃 Comparing Service Japanese and Americans Feel Comfortable With
- 文 16-0769 山 崎 菜 月 *The Intern* における登場人物の与える影響と変化—相補的な師弟関係、ジェネレーション・ギャップ—
- 文 16-0784 郷 原 菜 奈 第二言語学習における動機づけ
- 文 16-0785 山 本 康 太 人生のメタファーと文化—ハンガリー語、英語、日本語の比較—
- 文 16-0786 山 本 沙 樹 *The Truman Show* における翻訳と分析
- 文 16-0789 山 本 真 由 動物の鳴き声におけるオノマトペの日英比較—実際の鳴き声との比較から—
- 文 16-0800 吉 岡 麻 奈 『フランケンシュタイン』における語り手の効果と人物像
- 文 16-0811 芳 野 一郎太 心理文の日英比較
- 文 18-3002 石 関 東 沙 香水のネーミングに見られるメタファー—曖昧表現と消費者の購買意欲—
- 文 15-0214 金 高 史 弥 「マーク・トウェイン」—トムとハック、2人の冒険—
- 文 15-0437 藤 堂 郁 也 『シュー・ドッグ —ナイキ創始者の回顧録—』 翻訳
- 文 14-0022 荒 木 翔 太 *Harry Potter and the Philosopher's Stone* における翻訳比較

## 2018年度 英米文学英語学会会計報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,164,858 円	「英米文学英語學論集」第7号印刷代	146,880 円
特別会費	120,000 円	郵送料	852 円
学生会費	112,000 円	文具	498 円
		新2年生歓迎会	26,816 円
		雑費(振込料など)	512 円
利息	12 円	次期繰越金	2,221,392 円
合 計	2,396,870 円		2,396,870 円

2018年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

### 執筆者紹介

山下 雅 史 (本学大学院 前期課程)

### 査読編集委員会

岩 田 彩 志 (本学教授) \*高 橋 美 帆 (本学教授)

谷 口 義 朗 (本学教授) Richard Donovan (本学准教授)

千 井 洋 一 (本学教授)

\*編集代表

## 学会開催報告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2019年11月20日(水)13時半より関西大学第1学舎5号館 E601・602にて行われました。詳細は以下のとおりです。

### [研究発表]

#### E601 英語学

榎 隆暉 (M2) 「使役移動構文と結果構文の包括的關係性—メタファー的拡張を巡って—」

司会 鍋島弘治朗

#### E602 英米文学

ノヴァシヨラヴァ・イリーナ (M2) “Approaches taken in the English translation of Nahoko Uehashi’s *Moribito: Guardian of the Spirit*”

司会 野口メアリー

### [卒論構想発表会]

#### E601

有馬 明日香(野口ゼミ) “Comparing Responses to Compliments in Japanese and English”

司会 野口メアリー

井田 勝也(Andersonゼミ) “English pronunciation for Japanese Learners”

司会 Fred E. Anderson

#### E602

岡田 将吾(高橋ゼミ) 「H.D. R.A.F. について」

司会 高橋 美帆

田村 颯登(Donovanゼミ) “Translationese in the non-professional translation”

司会 Richard Donovan

藤本 翔(秋元ゼミ) 「『麗しのサブリーナ』に見るシンデレラ・ストーリーと登場人物の変化——白と黒のコントラスト——」

司会 秋元 秀紀

吉岡 麻奈(干井ゼミ) 「フランケンシュタイン論—怪物と語り手の効果について—」

司会 干井 洋一

---

### 【編集後記】

台風のため学会開催がひと月以上延期となり、卒論中間発表も遅くなったものの、今回も優秀論文計8篇が揃ったうえ、大学院生からの投稿論文もあり、例年通り充実した内容となりました。編集担当の西田様をはじめ、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## 『英米文学英語学論集』投稿規定

- 1 投稿資格  
本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。
- 2 投稿論文及び翻訳  
投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。  
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。
- 3 投稿の採否  
投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。
- 4 書式上の注意
  - i 注は本文の末尾にまとめる。
  - ii 注のナンバ―は肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
  - iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
    - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
    - ② 『MLA英語論文の手引』(第5版) (北星堂)
    - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
    - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
    - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
    - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
  - iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。
- 5 原稿締め切り  
原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。
- 6 電子化による公開  
投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができ。 (投稿規定改正 二〇一五年二月)

## 関西大学英米文学英語学会会則

### 第一条

本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

### 第二条

本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。

### 第三条

本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

### 第四条

- 一. 機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。
- 二. その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。本会は次の者をもって会員とする。
- 一. 本学文学部総合人文科英米文学英語学専修の専任教員。
- 二. 本学文学部総合人文科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科英米文学英語学専修の学生。

### 第五条

- 三. 右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。
  - 四. 本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中に入会希望者。
  - 五. 本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。
- 本会に次の役員をおく。
- 一. 会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。
  - 二. 副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。
  - 三. 評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。
  - 四. 委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・会計監査及び広報を分担する。
- 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。
- 会費は第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。第四条第二項に該当する者は千円を納入する。その他は年会費三千円を納入する。
- 会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。
- この会則の変更は評議員の議決による。

### 第六条

(会則改正 二〇一八年二月十四日)

### 第七条

### 第八条

### 第九条